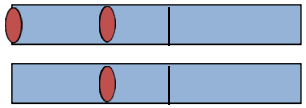
骨軟部肉腫 GEM + DTX 療法を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID:　　患者氏名:　　様

日付	月　日(　)	月　日(　) ～　月　日(　)	月　日(　)
経過	入院当日(治療開始前)	入院当日(治療開始後) ～ 治療終了後	治療終了後～退院日
	入院時		退院時
達成目標	治療の経過がわかる。	・予定どおりに治療が終了する。 ・副作用出現時は適切に対処が受けられる。	・副作用への対処法を理解し実行できる。 ・退院指導の内容が分かる。
検査	次の検査を行うことがあります。 血液検査、心電図、胸部エックス線撮影	・定期的に**血液検査**を行います。	
治療・処置	1　8　15 ゲムシタビン ドセタキセル  身長、体重を測定します。	抗がん剤の投与スケジュールに関しましては、病棟薬剤師より説明があります。 ☆抗がん剤は、1日目と8日目に投与されます。抗がん剤投与終了後に抜針します。 **【投与から1～2日後】** ・投与時過敏症状　→　薬剤投与中あるいは投与数時間後にかゆみ、息苦しさ、発熱、汗が出るなどの症状が出た場合は、すぐに教えて下さい ・便秘　→　下剤の内服、グリセリン浣腸 ・吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状　→　吐き気止めの内服または注射 **【投与から数日間経過してから】** ・口内炎　→　うがいや抗炎症薬の軟膏を塗布 **【投与から1週間経過してから】** ・貧血　→　輸血(頻度は稀です) ・血小板減少　→　血小板輸血(頻度は稀です) ・白血球・好中球の減少　→　G-CSF製剤(白血球を増やす薬)を注射 ・脱毛　→　ウィッグやバンダナ、帽子などを使用 ・浮腫　→　弾性ストッキング装着、利尿剤の内服 	
説明・指導	・入院生活について説明します。 ・予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について病棟薬剤師より説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。こまめに水分補給をしてください。	退院指導を行います(生活指導や次回外来再診日の連絡)
内服・点滴	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 **内服薬は基本的に継続とします。**		症状に応じて内服薬が処方されることがあります。(吐き気止めや下剤など)
食事	基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食が出ます。	食事の制限は特にありません。たくさん水分を取るように心掛けて下さい。吐き気のために食べられないときには、食事の変更ができますので相談ください。 症状にあわせて食事内容を変更することができます。	
生活・行動	特に行動制限はありません。		・白血球が減少すると感染に対する抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい、手洗いをしっかりと行い感染予防を行ってください。 ・血液データに応じて食事や行動の制限を行うことがあります。
清潔	抗がん剤投与中は、清拭になります。化学療法が終了し、抜針後にシャワー浴ができます。		
その他	熱が出た場合や血液検査などの検査結果に異常がある場合は、化学療法を延期することがあります。	他に気になる症状がありましたら、申し出てください。	**退院基準　1. 有害事象に対処できている　2. バイタルに異常がない**

注)予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
整形外科